



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

臨床薬理学

共通科目



2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習／3. 主要薬物の相互作用の理論と演習

内分泌・代謝系 演習

宮崎大学 医学部看護学科 統合臨床看護科学講座 臨床薬理学

柳田 俊彦 氏

臨床薬理学

演習：内分泌・代謝系

宮崎大学 医学部看護学科
統合臨床看護科学講座 臨床薬理学

柳田俊彦

本日の内容

目標

- ・ **内分泌・代謝系**の治療薬の特徴を理解し、臨床の場での適切な対応を考えることができる

内容

症例提示を行い、治療薬に関する方針や患者説明等を検討する

問題1

下記の症例について、糖尿病の薬物治療に関して必要と思われる患者指導の要点、留意点を列記してください。

1. グリニド薬で治療中の患者にαグルコシダーゼ阻害薬の投薬が検討されるとき
2. 妊娠糖尿病の診断となったとき
3. SU薬治療中の糖尿病患者が認知症を発症したとき
4. インスリン療法が必要であるが自己注射できない認知症患者

問題2

Bさん 55歳 男性. 非喫煙者.

冠動脈疾患や脳血管障害、末梢動脈疾患の既往なし.
冠動脈疾患の家族歴なし.

TC 228mg/dL, HDL-C 35mg/dL, TG 180mg/dL
血圧145/85mmHg

糖尿病・耐糖能異常なし.
特に自覚症状はなく、治療中の疾患もなし.

問題2

1. LDL-Cの値を求めてください
2. Bさんのリスク評価と努力目標値を求めてください
3. 検査値が全く同じとして、Bさんが女性だった場合のリスク評価と努力目標値を求めてください
4. Bさんにスタチンによる治療が行われることになりました.
薬物療法に関して必要と思われる患者指導の要点を列記してください.